

コロンブス

MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見!!

2

2014

FEB.

680円

中山間地域
成長?!!

日本の 農業と TPP

JCN「につぼんケーブルチャンネル」にて
月刊「コロンブスTV」を絶賛放送中!!

目指せ!!

農業村国

【特選銘柄】

どうなる、TPP交渉妥結後の日本
「強い農業」と6次産業化は実現可能か
吉川 駿・日本農民新聞社会長

【トップ会計人】

景気回復にあわせて
ベンチャー企業のM&Aと上場を支援!!
江黒崇史・清和監査法人パートナー

【大地の顔】

蔵の街・川越の一角で
名物「つぼ焼き芋」を守りつづける
つぼやき平本屋・平本嘉一

【アジア進出の達人】
池田博義のGlobal Channel

ハードとソフトを組み合わせた
総合的な物流サービスを展開!!
木島 勲・内外日東代表取締役社長

【10年後をリードする「未来企業」】

大規模セミナーをつぎつぎと開催
世界一の「教育の流通会社」を目指す
清水康一郎・ラーニングエッジ代表取締役社長

【中山間地域レポート】

農村版大学コンソーシアムの
取り組みと集落再生
井原満明・木島平村農村文明塾総合コーディネーター

危機?



地域の元気企業ガイド コロンプス総研

Columbus analyst

執筆を通して、ひとりでも多くの方に 数字の使い方と大切さを伝えたい

消費税前の駆け込み需要の影響で、建設業や不動産業を中心に中堅・中小企業も活況を呈しているように思います。顧問先の建設会社のなかには職人が足りなくて困っているところもあるほどです。しかし、これはあくまでも駆け込み需要であるということを忘れてはいけません。関東は東京オリンピックの影響でしばらくの間は好況がつづくと思いますが、関西の場合は2014年4月を境に現在の勢いがストップしてしまうことも考えられます。

このように先が読みにくい時期だからこそ、顧問先には自社の決算書に注意を払い、つねに売り上げを先読みしてほしいとアドバイスしています。その際に私がオススメしたいのが1枚の紙に決算書のポイントを抜き出し、経営分析に役立てる手法です。詳しくは昨年夏に出した『会計のプロがやっている A4 一枚決算書 速読術』（日本実業出版社）という本のなかで紹介しているので、関心がある方は手に取ってみてください。

ところで、私はそのほかにもこれまでに年一冊のペースで本を執筆してきました（去年は2冊）。本を書くときに念頭に置いているのは、実践的にビジネスで使えて、売り上げアップにつながるような内容にすることです。たとえば、最初に手掛けた『東大卒でも赤字社員 中卒でも黒字社員』（経済界）では学歴やキャリアなどにとらわれずに、会社にとって有益な人材を判別する「見方」を紹介しました。その後、「数字で考えなきゃ!」シリーズとして『もっと仕事は数字で考えなきゃ!』『リーダーならもっと数字で考えなきゃ!』（あさ出版）を書きました。『リーダーなら〜』のほうでは、数字を生かしながらいかにチームを作り、PDCA サイクルを回していくかといったことを解説しています。

この1月下旬には「数字で考えなきゃ!」シリーズの続編として、『営業ならもっと数字で考えなきゃ!』（あさ出版）が発売されます。こちらでは『リーダーならもっと数字で考えなきゃ!』とは異なり、営業マン一人ひとりがどのように数字を意識し、働いていくべきかについて書いています。具体的にはいかに顧客にアプローチをかけるか、いかに顧客に興味を持ってもらうか、いかにクロージングを行うか、いかに顧客にリピーターになってもらうかといったことを解説しています。こうした執筆活動を通して、ひとりでも多くの方に決算書や数字を身近に感じていただき、自社の売り上げアップにつなげていってほしいと思います。

香川会計事務所/
公認会計士
(兵庫県尼崎市)
香川晋平さん



今月のContents

◆全国のニッチトップ企業12社

◎「大手にない、地元ならではのモノを」

ユニーク飲料開発で新市場を切り開く (関連記事48頁)

◆地域力データパック 47都道府県 & 東京23区

◎「焼酎文化でおもてなし条例」制定

かごしま本格焼酎の産業振興 (関連記事61頁)